

# 高山 (190m) & 新高山 (198m) 本郷町

## 小早川家の山城を巡る歴史散策

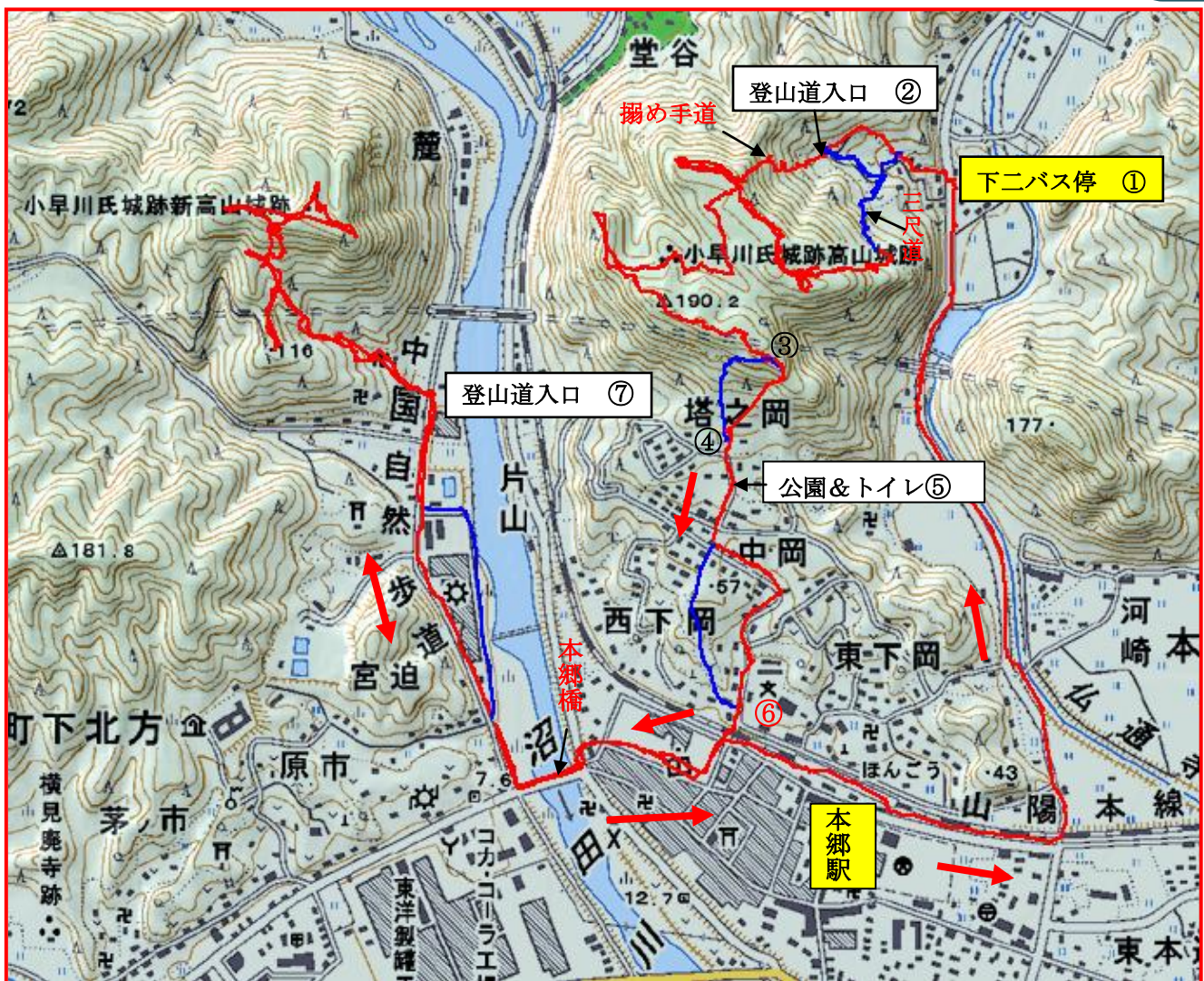
小早川家四代目茂平が一二〇四年に高山に築城した高山城跡とその対岸に位置する新高山にあり、今まで出城であったものを、小早川家を継いだ隆景が一五五二年に大改修をし、本城とした新高山城(攻めにくく、守り易い、難攻不落の山城で日本三名城の一つと称された)跡を巡る山歩きを紹介する。

今回は、JR本郷駅を起点にし、先ず高山を訪ね、次いで新高山まで歩くコースを紹介するが、両山とも、国指定史跡となっており、館跡と思われる基石など当時を知る遺構が各所に残されており、案内板も多く、当時は十分に偲ぶことが出来る。

全行程は、距離は約12km(その内、山歩きは両山とも約2.5km)、累積標高差が約1650m。歩行時間は約6時間(休憩時間は除く)。城跡をじっくり見る人はその時間をプラス)

同時に二山を巡らず、二つに分けても良いが、健脚には体力的に、物足りないだろう。

高山への登山口近くには芸陽バスの「下二(シモニ)」バス停①があるが、便数が少ないので、本郷駅から歩いて行く事にする。駅から東へ線路沿いの道を400m程歩くと、踏切となる。左へ踏切を渡り北へ道なりに1kmも歩くと山陽新幹線の下をくぐる。そこから約400mで「下二(シモニ)」バス停に着く。道路を挟んだ向い側の階段を上がり、民家の間を縫うようにして「高山墓園」へと続く坂道を登る。墓園を過ぎた突き当りに「みはら歴史と観光の会」と「高山城を守る会」協賛の立派な案内板(写真参照)が建っている。ここが登山道入口②である。高山は谷を挟んで北と南の尾根から構成されており、その両方に在った城跡が詳しく絵入りで紹介されている。それを頭に入れてから、右手にある「搦め手道」を登ろう(青線で示す三尺道からも登れるが、夏場は雑草が茂り歩き難い)。道は入口部分を除き、整備されていて、落ち葉を踏みしめながら20分も登ると、頂上尾根



筋の「北の丸跡」と「二の丸跡」の間に出る(城郭口)。先ず、右手の「北の丸跡」を訪れる。「北の丸跡」の北端

からは、次に訪れる、「新高山」や本郷町船木の田園風景。そして沼田川が望まれる。引き返して、「二の丸跡」「本

丸跡」「扇の丸跡」と廻った後、元来た道を「城郭口」まで引き返すし、左手に道を取り、谷を挟んだ南側の尾根へ向かう。ここから南尾根までは、夏場は草に覆われて道が分かり難いので注意すること。

先ず、「西の丸跡」へ向かい、次いで「太鼓丸跡」・三角点のある「高野丸跡」・「イワオ丸跡」そして最後に「西丸跡」を訪ね下山開始点③へ向かう。ここから、下山道は二手(赤線と青線で示す)に分かれるが、④で合流する。どちらでもよいが、ここでは左手(赤線)の道を進もう。④を少し下ると、公園があり、公衆トイレがある⑤。ここからは、本郷小学校⑥を目指して、民家の間を走る車道を進む(赤線で示す)か、まっすぐ墓地を突き抜け(青線で示す)て本郷小学校を目指す。そこから、JR踏切、本郷橋を渡り、新高山の登山道入り口⑦へと地図に示す一般道を歩く。登山道入り口には立派な「小早川隆景居城新高山城跡 登山道」の標識がある。民家の間を縫ってしばらく細い道を登ると、登山口となり、そこには「史跡小早川氏の城跡」という説明板が設置されている。登山道はよく整備されてお

